

熟成酒シンポジウムの開催について

国税庁では、「日本酒のグローバルなブランド戦略に関する検討会」等において、「『熟成』という時間的な価値を取り入れた商品カテゴリーは、日本酒の商品多様性を広げるだけでなく、日本酒の価値自体を引き上げていく可能性は高い。」旨の示唆がなされたことを踏まえ、近年、注目が高まりつつある「熟成酒」について専門家の方々がその魅力を語るシンポジウムを開催した。

- ◆ 日時：令和5年4月28日（金）15:00～17:00
- ◆ 場所：三田共用会議所 講堂
- ◆ 聴講人数：約300名（来場、オンライン）



市場拡大に向けた様々な取組の紹介・基調講演

古昔の美酒、長期熟成酒研究会、刻SAKE協会の3団体から、熟成酒市場拡大に向けた各団体等の取組等について紹介を行った。



※ 刻SAKE協会増田徳兵衛代表理事の発表の様様

「熟成酒の科学的魅力」について、熟成酒の研究に精力的に取り組む酒類総合研究所ボルジギン・ソリナ氏から、基調講演を行った。



※ 酒類総合研究所ボルジギン・ソリナ研究員の発表の様様

パネルディスカッション

モデレーター 日本酒造組合中央会 理事 宇都宮 仁	古昔の美酒 佛匠創生 代表取締役 安村 亮彦	長期熟成酒研究会 佛本田商店 代表取締役 本田 眞一郎 会長 顧問 門司健次郎 (資)愛知屋 伊藤 淳 事務局長
刻SAKE協会 佛増田徳兵衛商店 代表取締役 増田 徳兵衛 代表理事	佛熟と畑 社長 上野 伸弘 常任理事	独立行政法人酒類総合研究所 理事長 福田 央 品質・評価研究部門 研究員 ボルジギン・ソリナ

日本酒造組合中央会の宇都宮氏をモデレーターとして、古昔の美酒、長期熟成酒研究会、刻SAKE協会の3団体及び酒類総合研究所とともに、「熟成酒の出口戦略の方向性」をテーマとしてディスカッションを行った。